

## 訂正とお詫び

「2018バスケットボール競技規則・解説（インタープリテーション）」の本文に誤り（2箇所）がございましたので、お詫びして以下のとおり訂正いたします。

### <競技規則56ページ/第46条 クルーチーフ：任務と権限 46-12>

《誤》

- ・第4ピリオドや延長ピリオドのゲームクロックが2：00あるいはそれ以下を表示している場合
  - 成功したショットのボールが手から離れるのが、ゲームクロックのブザーよりも先だったかどうかを確認
  - ショットがファウルよりも先だったかどうかを確認
  - ボールをアウトオブバウンズにしたプレーヤーの確認

《正》

- ・第4ピリオドや延長ピリオドのゲームクロックが2：00あるいはそれ以下を表示している場合
  - 成功したショットのボールが手から離れるのが、ショットクロックのブザーよりも先だったかどうかを確認
  - ショットがファウルよりも先だったかどうかを確認
  - ボールをアウトオブバウンズにしたプレーヤーの確認

### <インタープリテーション100ページ/第9条 ピリオドの開始と終了 9-2>

《誤》

**解説：**ゲーム開始は最大15分まで遅らせることができる。その15分が過ぎるまでに不在だったプレーヤーがコート上にゲームに出場できる状態で現れた場合は、  
(a)ゲームは開始され、罰則は与えられない。  
(b)コーチBに対してテクニカルファウルが宣せられる。チームAにフリースロー1本が与えられ、ゲームはジャンプボールで開始される。

《正》

**解説：**ゲーム開始は最大15分まで遅らせることができる。その15分が過ぎるまでに不在だったプレーヤーがコート上にゲームに出場できる状態で現れた場合は、  
(a)ゲームは開始され、罰則は与えられない。  
(b)コーチBに対してテクニカルファウルが宣せられ、スコアシートに「B」と記録する。チームAにフリースロー1本が与えられ、ゲームはジャンプボールで開始される。